

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 鉦研工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6297 URL <https://www.koken-boring.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木山 隆二郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理財務本部長 (氏名) 和泉 裕介 (TEL) 03 (6907) 7888
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,700	29.4	223	254.9	173	323.4	98	△5.2
2023年3月期第2四半期	3,633	2.6	62	△67.7	40	△78.2	103	△45.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 97百万円(△5.1%) 2023年3月期第2四半期 103百万円(△47.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	11.63	—
2023年3月期第2四半期	12.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,008	4,737	36.4
2023年3月期	12,887	4,697	36.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,737百万円 2023年3月期 4,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	21.7	700	167.7	580	269.1	350	88.3	41.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	8,970,111株	2023年3月期	8,970,111株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	510,462株	2023年3月期	529,195株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	8,448,944株	2023年3月期2Q	8,426,984株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 6 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は社会経済活動の正常化による個人消費や設備投資の持ち直し等、緩やかな回復の動きを見せております。一方、引き続き先行き不透明なウクライナ情勢や資源・エネルギー価格の高騰に加え、急激な円安の進行や金融引き締め等による海外経済の減速による下押しが懸念されており、依然として厳しい状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、国内市場は今後も都市の再開発、全国規模の防災・減災対策、インフラ老朽化対策、リニア中央新幹線建設など、社会資本設備が不可欠で、建設投資は今後も底堅く推移していくことが見込まれております。当社グループにおきましては、原材料費が幅広い品目で高止まりしていることにより、コスト上昇の影響が顕在化していることから、厳しい経営環境が続いております。

このような状況ではありますが、当社グループでは引き続き新中期経営計画「STEPUP鉦研ACTION S 2025」(2021年度～2025年度)に基づいて、持続的売上拡大と利益確保に努めて参ります。

当第2四半期連結累計期間における当社単体の受注高は、ボーリング機器関連では原材料高の影響により販売価格高騰が影響したため受注が伸び悩みましたが、連結子会社である株式会社クリステンセン・マイカイの受注高が当年度期首より計上されたことにより、連結受注高は増加しました。また、工事施工関連においては、トンネル調査工事が大型工事案件から小口工事案件へ変化してきたことや、大型工事の着工が延期されたことにより当第2四半期では受注とならなかったため前年同四半期を下回りました。ただし、連結受注高全体については下期の海外関連大口受注を含め、通期での回復を見込んでおります。売上高につきましては、株式会社クリステンセン・マイカイの売上高が当年度期首より計上されたことを主たる要因として、連結売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、連結受注高は、前年同四半期38.0%増の4,645百万円、連結売上高は、同29.4%増の4,700百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は223百万円(前年同四半期比254.9%増)、経常利益は173百万円(同323.4%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は98百万円(同5.2%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結累計期間(A) 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	前第2四半期 連結累計期間(B) 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	前年同四半期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	4,645	3,366	1,278	38.0%
売上高	4,700	3,633	1,066	29.4%
営業利益	223	62	160	254.9%
経常利益	173	40	132	323.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	98	103	△5	△5.2%

(百万円未満は切り捨てて表示しております。以下同じ。)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ボーリング機器関連

当社単体においては、原材料高の影響により販売価格高騰が影響したため伸び悩みましたが、連結子会社である株式会社クリステンセン・マイカイの当年度期首からの計上により、受注高全体では前年同四半期を上回る3,454百万円（前年同四半期比81.9%増）となりました。売上高につきましてはボーリングマシン本体等の計画生産を開始いたしました。販売価格高騰による設備投資の足踏みがみられた一方で、株式会社クリステンセン・マイカイのウェルサービス（傾斜掘り等ビジネス）が好調であったことなどにより、前年同四半期を上回る2,998百万円（前年同四半期比46.0%増）の売上高を計上いたしました。

利益面におきましては、個別原価の管理の徹底により、原価率が低減したことにより、セグメント利益66百万円（前年同四半期はセグメント損失14百万円）を計上いたしました。

（単位：百万円）

	当第2四半期 連結累計期間(A) 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	前第2四半期 連結累計期間(B) 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	前年同四半期比較	
			増減額	増減率
			(A)-(B)	(A)/(B)-1
受注高	3,454	1,899	1,555	81.9%
売上高	2,998	2,054	944	46.0%
セグメント利益又は損失(△)	66	△14	81	-%

② 工事施工関連

受注高は、トンネル工事における先進調査の案件は一定数あるものの大型案件が減少し、温泉工事および大口海外工事も発注・入札が延期されたことにより当第2四半期では受注とならなかったため前年同四半期と比べると276百万円減少し、1,190百万円（前年同四半期比18.9%減）となりました。売上高につきましては、BM工事とアンカー工事が減少したもののトンネル調査工事と長期のコントロール工事が一部完工することにより増加し、売上高全体では前年同四半期を上回る1,701百万円（前年同四半期比7.7%増）となりました。

利益面におきましては、若干の原価率の悪化があったものの、売上高の増加と販売費及び一般管理費の負担減少により、セグメント利益155百万円（前年同四半期比104.1%増）を計上いたしました。

（単位：百万円）

	当第2四半期 連結累計期間(A) 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	前第2四半期 連結累計期間(B) 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	前年同四半期比較	
			増減額	増減率
			(A)-(B)	(A)/(B)-1
受注高	1,190	1,467	△276	△18.9%
売上高	1,701	1,579	122	7.7%
セグメント利益	155	76	79	104.1%

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して121百万円増加し、13,008百万円となりました。

流動資産は、売上債権（受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権）が178百万円減少しましたが、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）が418百万円、現金及び預金が26百万円それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して222百万円増加し、7,631百万円となりました。

有形及び無形固定資産は、建物、請負用工事機械、工具器具備品などで61百万円の設備投資を行ないましたが、126百万円の減価償却を実施したことなどから、有形及び無形固定資産は90百万円減少し、4,948百万円となりました。

投資その他の資産は、長期未収入金が13百万円減少したことなどにより427百万円となりました。以上の結果、固定資産合計では前連結会計年度末と比較して101百万円減少し、5,376百万円となりました。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して81百万円増加し、8,271百万円となりました。

流動負債は、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が157百万円、契約負債が30百万円それぞれ減少しましたが、仕入債務（支払手形及び買掛金、電子記録債務、工事未払金）が317百万円、賞与引当金が17百万円それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して237百万円増加し、3,871百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が148百万円、退職給付に係る負債が4百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して156百万円減少し、4,400百万円となりました。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、配当金の支払いにより67百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円を計上したことなどにより前連結会計年度末と比較して40百万円増加し、4,737百万円となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末と同率の36.4%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、以下の記載のキャッシュ・フローにより、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し1,329百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、415百万円の収入（前年同四半期は648百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益173百万円、仕入債務の増加316百万円、売上債権の減少178百万円、減価償却費126百万円などであり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加440百万円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、8百万円の支出（前年同四半期は915百万円の支出）となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出26百万円、定期預金の純増加支出1百万円、その他収入19百万円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、382百万円の支出（前年同四半期は1,560百万円の収入）となりました。長期借入金は、収入として100百万円の調達を行う一方、支出として約定弁済などにより255百万円を返済いたしました。短期借入金は、純減少が150百万円ありました。また、配当金は66百万円の支払いを行いました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、上期ラップは計画を若干下回っているものの、下期繰り延べ案件があることにより、2023年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,321,468	1,347,927
受取手形、売掛金及び契約資産	2,597,317	2,402,993
電子記録債権	310,240	325,794
商品及び製品	1,860,657	2,286,001
原材料及び貯蔵品	514,653	502,111
仕掛品	643,347	648,625
その他	161,826	118,512
流動資産合計	7,409,510	7,631,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,351,488	2,291,527
機械装置及び運搬具（純額）	334,379	328,046
土地	1,986,896	1,986,896
その他（純額）	89,270	91,161
有形固定資産合計	4,762,035	4,697,632
無形固定資産		
のれん	231,259	206,481
その他	45,697	44,860
無形固定資産合計	276,956	251,342
投資その他の資産		
投資有価証券	7,360	7,711
繰延税金資産	19,088	36,247
その他	414,611	385,781
貸倒引当金	△1,705	△1,805
投資その他の資産合計	439,355	427,934
固定資産合計	5,478,348	5,376,909
資産合計	12,887,858	13,008,876

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	547,718	708,933
電子記録債務	318,909	499,190
工事未払金	151,779	128,191
未払費用	213,463	208,619
契約負債	89,531	59,518
短期借入金	1,500,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	402,517	394,850
未払法人税等	88,374	100,519
製品保証引当金	-	5,000
賞与引当金	191,242	208,884
工事損失引当金	10,000	-
受注損失引当金	5,000	1,736
その他	115,585	205,889
流動負債合計	3,634,121	3,871,334
固定負債		
長期借入金	3,738,937	3,590,669
役員退職慰労引当金	51,652	54,435
退職給付に係る負債	641,850	637,303
資産除去債務	24,311	24,375
繰延税金負債	7,190	15,910
再評価に係る繰延税金負債	15,230	15,230
その他	77,498	62,541
固定負債合計	4,556,672	4,400,466
負債合計	8,190,793	8,271,800
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
利益剰余金	3,944,119	3,973,941
自己株式	△301,230	△290,561
株主資本合計	4,808,304	4,848,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△210	△105
土地再評価差額金	△124,007	△124,007
退職給付に係る調整累計額	12,978	12,392
その他の包括利益累計額合計	△111,239	△111,719
純資産合計	4,697,064	4,737,076
負債純資産合計	12,887,858	13,008,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,633,569	4,700,414
売上原価	2,697,440	3,302,032
売上総利益	936,129	1,398,382
販売費及び一般管理費	873,196	1,175,002
営業利益	62,933	223,379
営業外収益		
受取利息	6	96
受取配当金	24	189
受取保険金	77	6,652
スクラップ売却益	2,825	-
その他	7,414	5,568
営業外収益合計	10,348	12,507
営業外費用		
支払利息	31,036	37,988
為替差損	-	23,519
その他	1,280	924
営業外費用合計	32,317	62,431
経常利益	40,964	173,455
特別利益		
固定資産売却益	114,025	599
特別利益合計	114,025	599
特別損失		
固定資産除却損	9	257
特別損失合計	9	257
税金等調整前四半期純利益	154,980	173,798
法人税、住民税及び事業税	39,628	83,748
法人税等調整額	12,838	△8,226
法人税等合計	52,467	75,521
四半期純利益	102,513	98,276
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,119	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,632	98,276

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	102,513	98,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	105
退職給付に係る調整額	525	△585
その他の包括利益合計	567	△480
四半期包括利益	103,080	97,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,200	97,796
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,119	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	154,980	173,798
減価償却費	94,124	126,356
のれん償却額	-	24,777
契約負債の増減額 (△は減少)	△17,921	△30,012
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,566	17,642
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	-	5,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	34,150	△5,391
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△4,400	△10,000
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	12,609	△3,263
固定資産除売却損益 (△は益)	△114,015	△342
未払費用の増減額 (△は減少)	△129,835	△15,993
受取利息及び受取配当金	△31	△286
支払利息	31,036	37,988
売上債権の増減額 (△は増加)	75,738	178,770
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△297,612	△440,240
仕入債務の増減額 (△は減少)	△643,803	316,534
その他	173,912	147,428
小計	△629,501	522,763
利息及び配当金の受取額	15	286
利息の支払額	△30,898	△37,987
法人税等の支払額	△7,164	△69,733
法人税等の還付額	18,643	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△648,904	415,328
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△187	△198
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,582,789	△26,635
有形及び無形固定資産の売却による収入	695,739	600
定期預金の純増減額 (△は増加)	△600	△1,600
その他	△27,489	19,679
投資活動によるキャッシュ・フロー	△915,327	△8,154
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△150,000
長期借入れによる収入	1,825,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△139,787	△255,935
自己株式の取得による支出	△0	△50
配当金の支払額	△83,374	△66,670
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△31,725	-
その他	△9,428	△10,075
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,560,684	△382,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	415
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,502	24,858
現金及び現金同等物の期首残高	1,223,758	1,304,665
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,220,256	1,329,524

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月27日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、2023年7月26日付けで自己株式18,833株を処分いたしました。この結果、自己株式は当第2四半期連結累計期間において10,669千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において290,561千円となっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響及びウクライナをめぐる現下の国際情勢に関する会計上の見積りについて重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,054,025	1,579,544	3,633,569	—	3,633,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,888	—	3,888	△3,888	—
計	2,057,913	1,579,544	3,637,458	△3,888	3,633,569
セグメント利益又は損失 (△)	△14,390	76,246	61,855	1,077	62,933

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,077千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,998,633	1,701,781	4,700,414	—	4,700,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,303	—	5,303	△5,303	—
計	3,003,936	1,701,781	4,705,717	△5,303	4,700,414
セグメント利益	66,845	155,584	222,430	949	223,379

(注) 1. セグメント利益の調整額949千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。